

漁業の取り組みについて③ ～ホッケ養殖の取り組み～

上ノ国町におけるホッケ全体の漁獲金額は、平成22年度から9千万円台で推移している状況にあり、平成23年度には1億円を超え、主力魚種の一つとなっています。

ホッケは回遊魚であるため資源の確保や管理が困難で、全道的にも資源量が減少傾向にあり、ひやま漁業協同組合上ノ国支所の漁獲量も徐々に減少している状況です。そのため、ひやま漁業協同組合が町から補助を受けて整備したホッケ養殖用生け簀を漁港内に設置し、漁獲された小さなホッケを一定期間養殖しながら品質を向上させ、値段の高くなる時期に効率よく出荷する取り組みを進めております。

このほか、町では檜山南部水産技術普及指導所の協力のもと成長測定などの調査を実施して養殖技術の向上を目指し、より安定的で効率的な出荷ができるよう支援しています。

この結果、ホッケ養殖の実績も徐々に成果が現れ、現在は出荷単価が平均750円/kgと安定した高値で推移し、冬場の漁業収入（出稼ぎ）対策としても期待されているところです。

近年は漁船漁業が低迷しているため、町としてこれからも育てる漁業を推進するとともに、単価の高い活魚出荷やブランド化、販路（出荷先）拡大など、ひやま漁業協同組合や関係機関と連携して取り組み、育てる漁業推進のため支援を進めていきます。



成長測定の様子

ホッケ漁獲量の推移(ひやま漁業協同組合上ノ国支所分)

	漁獲量	金額【()は養殖金額】
平成20年	442 t	7,575万円(1,102万円)
平成21年	606 t	5,839万円(652万円)
平成22年	773 t	9,820万円(1,494万円)
平成23年	530 t	10,106万円(1,668万円)
平成24年	423 t	9,382万円(1,487万円)

上ノ国ウインドファームについて

風車の場所



発電所について

- 株式会社ジェイウインドが建設しております。
- 風車は12基設置されます。
- 発電所の出力は28,000kW(2,333kW×12基)です。道南エリアで一番大きな発電所で、北海道全体でも2番目の大きさとなります。
- 1年間で発電できる電気の量は約7,280万kWhです。町の世帯数約2,700世帯が1年間に使う電気量の約7倍の量が発電されます。

風車の建設工事は11月中に終了し、平成26年3月運転開始に向けて今後試運転等が予定されております。

